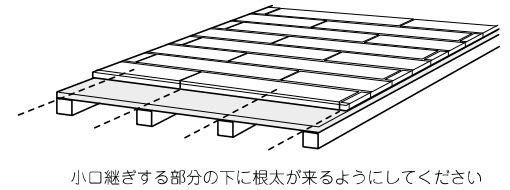
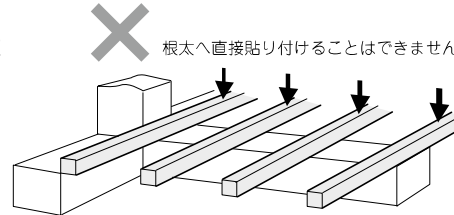
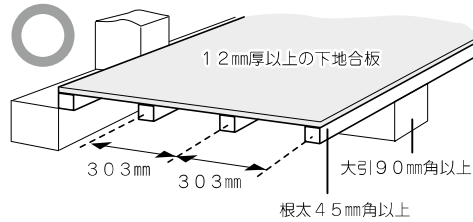


## 作業の流れ ▶ ①下地処理 → ②仮並べ → ③釘・糊接着 → ④施工 → ⑤施工後の作業 → ⑥その他の作業

### ①下地処理

- ・下地材は12mm厚以上の耐水合板を使用し、糊釘併用で固定してください。
- ・材料の含水率は12%以内になしてください。
- ・大引は90mm(3寸)角以上、根太は45mm角以上の乾燥材をご使用ください。
- ・床を木口継ぎにする部分の下に根太がくるようにしてください。
- ・湿気による突上げと腐食防止のため、床下に建築基準法に基づいた通風口(5m以内に300cm以上)を設け、風通しをよくしてください。
- ・下地に不陸、雨濡れなど湿った状態のないことを確認し、下地合板の継ぎ目の段差は0.3mm以内になしてください。



### ②仮並べ

- ・弊社のフローリングは天然木です。李理や色の違いがある場合は仮並べで全体の配色を確認してください。特に色差が気になる李理が入った材料は、目立たない場所に貼る等の工夫をしてください。

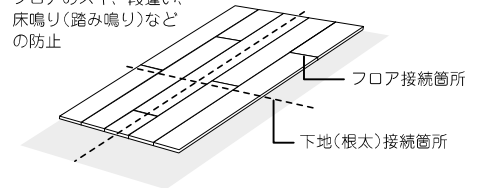
#### 仮並べ

- ◎全体の配色を確認する
- ◎合わないものは目立たない箇所へ配置



#### 下地(放熱板)とのずらし貼り

- フロアのスキ、段違い、床鳴り(踏み鳴り)などの防止



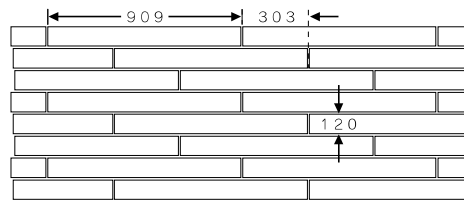
### ③釘・接着剤

- ・施工は必ず釘とウレタン系接着剤を併用してください。〔推奨釘〕ステープルもしくはスクリーナー釘3.8mm以上
- ・接着剤は直径約6mmを帯状に塗布してください。糊剥がれによる床鳴り防止のため、根太上の位置に床用弾性接着剤を必ず使用してください。〔推奨ボンド〕コニシKU928(通常)・コニシE350(湿度の高い環境の場合)

### ④施工上の注意点

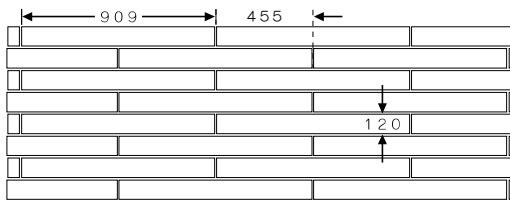
- ・右の図は120×909mmサイズの施工例です。
- ・下地の不陸、段差は表面の段差、突上げの原因となるため、下地合板の継ぎ目とフローリングの継ぎ目は、重ならないよう釘打ち可能箇所にフロア短辺部の接着箇所がくるように割り付けてください。
- ・施工後のフロアのスキ、段違い、床鳴り(踏み鳴り)などを防ぐためフロアをずらし貼りしてください。
- ・フローリングタイプの床板は尺ずらし、または、りゃんご貼り施工してください。
- ・釘の打ち込み角度は45〜60度で、打ち込み深さは頭部が僅かに埋まる程度にし、頭部が残った場合はポンチで打ち沈めてください。
- ・捨て貼り下地でも根太の位置で釘を打ち、釘の足が根太に入るようにしてください。
- ・突付部分は0.1mmの隙間を空けてください。木材は含水率が1%変化する毎に、長さ寸法が0.02mm変化します。
- ・貼りじまいは、床材をはめ込む前に正寸に切り、収まりを確認してください。また、壁との間に必ず3〜5mmの隙間を空けてください。
- ・巾木がある場合は必ず後付けにしてください。
- ・接着剤が硬化するまで(24時間以上)、上に乗らないでください。

#### 尺ずらし貼り



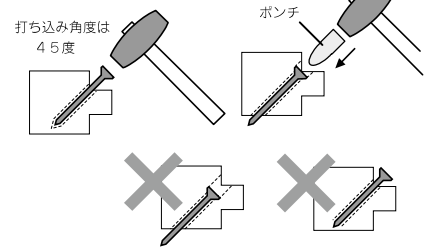
フローリングの長さに対し1尺(303mm)の距離を次列でずらして貼る方法。弊社のフローリングは909mmのため1/3ずつずれます。並びが強調されず、目立たなくなる効果があります。

#### りゃんご貼り



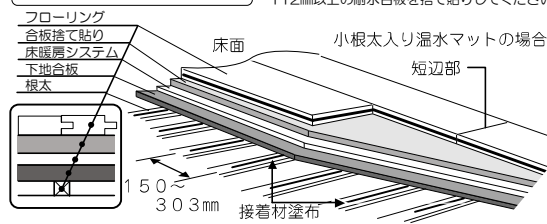
フローリングの長さに対し半分の距離を次列でずらして貼る方法。貼り合わせ部のV字溝が規則正しく並び、板をブロック状に並べるイメージになります。

#### 釘の打ち込み



#### 床暖房の場合の注意点

※床暖房に施工する際は、床暖房パネルの上にT12mm以上の耐水合板を捨て貼りしてください。



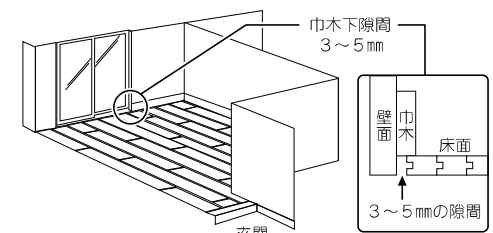
- 施工上の注意 ・フローリングの貼り方向は、温水マットの釘打ち部と直行するようにし、縦方向の継ぎ目が必ず根太の上に来るよう施工してください。

- 施工後の注意 ・床暖房システムの運転は施工完了後2日以上の養生後に開始してください。その他詳細は、床暖房メーカーへお問い合わせください。

釘打ち可能部分 根太、小根太入り温水マットの小根太、床暖房放熱パネルの釘打ち可能箇所、床下地の合板

#### 壁際およびサッシ下の隙間

床材の突き上げ防止のため必ず行ってください

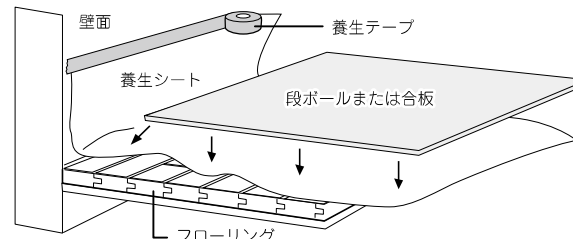


### ⑤施工後の注意点

- ・フローリングの表面に擦り傷が付かないように養生シートを端まで敷き、その上にダンボールや合板を敷いてください。
- ・養生テープは床に直接貼らずに養生シートを壁面側まで被い、養生テープで固定してください。養生が不十分ですと表面や木目に埃や塵が入り、取れなくなる事があります。特に濃色商品の養生は十分ご注意ください。
- ・室内の換気は十分に行ってください。夏場の高温や冬場の急激な暖房にもご注意ください。

### ⑥その他の注意事項

- ・床材は開梱後すぐに施工し、雨濡れしたものは使用しないで下さい。また、雨天など湿気の高い天候下では施工を控えて下さい。



- 養生テープは床に直接貼らないでください

